Japan Offical Fishing Instructer Osaka

じょふいおおさか

JOFIOSAKA

Vol.31

平成25年 春号

2013年（平成25年）2月1日発行
発行者：大阪府釣りインストラクター連絡機構　本部：大阪府東大阪市中小阪1-5-20 tel06-6729-9485 fax06-6729-9457（編集責任者：広報部萱間）

大阪湾ＹＥＡＲにあたって

來田 仁成（大阪府釣りインストラクター連絡機構代表）

3月10日に大阪湾の再生に関心を持つ人々が集まる〝大阪湾イヤー〟の記念イベントとして、海遊館で「大阪湾フォーラム」が開かれます。そのためもあって大阪港の古くからの様子を調べていました。たまたま、古い友人の一人が泉大津の助松（松ノ浜）周辺の海辺の曾ての様子を絵に描いて残そうという主旨のグループに所属していて、50～60年前の松ノ浜海水浴場の様子を絵に描いて、それを壁画にして昨年6月から公開していることがわかりました。

その場所は、終戦直後の1年余り、わたしが疎開していた家のすぐそばの砂浜でした。朝から夜まで、夢中になって遊び暮らし、カレイやガッチョと戯れた日々、夏の夕方になると無数に飛び回っていたヤンマの大群、そして松林の日陰でいつも漂う松脂の匂い、カンケリ、コマ回し、鬼ごっこ。いまの子供たちが取り上げられてしまって二度と味わうことのできないあの懐かしい記憶の残像です。

現在の幅広い臨海道路がその当時の海岸線にあたり、いまは見る影もないのですが、大阪湾の典型的な海浜風景である白砂青松の中で遊んだ懐かしい日々を忘れることができず、どうにかして、それを後の世代の人々に伝え残したいという思いを持っていただけに、共感の想いはひとしおでした。

大阪府の海岸線の総延長は237.7km。その中で、全く人の手が加えられておらず自然のまま残されているのは、泉南のみさき公園の裏にある長松自然海浜保全地区の850mと、同じく泉南の小島自然海浜保全地区の1320mの2か所だけでその割合は全体の0.8%にすぎません。そして防波堤など人工物があるがほぼ自然に近いという半自然海岸は10.9kmで4.6%、人工海岸は224.9kmで94.6%だということです。

1950年代のはじめから開始された埋め立て地の工事以来、僅か50年余りで、大阪湾は昔日の面影を失い直立岸壁ばかりになってしまったのです。

そうした社会活動本位の大工事の結果〝つけ〟として残っているのは、いま、みなさんもご承知のように、大阪湾をぐるりと回っていた海流が、二つに別れ、そのせいか、海の状態に奇妙な〝むらっ気〟を感じるようになりました。

表水温と底潮の温度差の大きさ、風向きで支配されることの多い海中の溶存酸素の値、異様なほど澄み切った海、魚の群れの回遊の異変など、魚を通じてわたしたち釣り人が知り得た〝昔とちがう海〟という印象を数え上げればきりがありません。

釣りという〝あそび〟は自然環境の中にあってこそ価値があると考えます。ただ単に魚の引きや手ごたえだけを楽しむのなら、それは本来の釣りというものとくらべると似て非なるものといっても過言ではないでしょう。

たえず自然環境の変化に心を配り、あらゆる生命を肌で感じ、労わり、できるだけそれに負担をかけないささやかな遊びという姿勢を崩すことがあってはならないとも考えます。

いいかえれば、釣りインストラクターの資格はそういった人々の内に秘めたこころばえの証でなければならないと思っています。

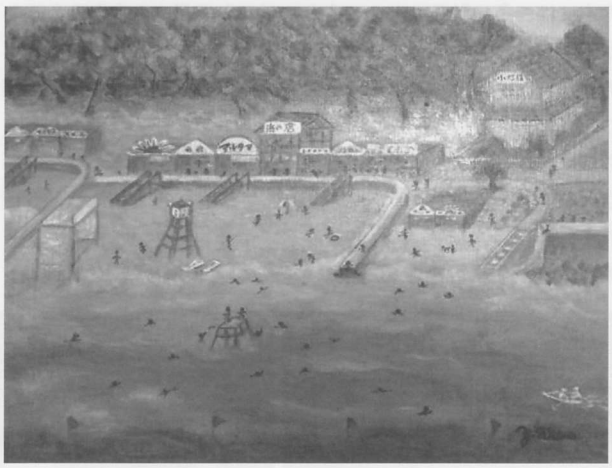
これまでの半世紀、釣り人達は、恥ずかしながらさっきあげたような社会活動の流れの中で、ただ茫然と見守るばかり、ともすれば出来たばかりの護岸に真っ先に上り、しかも出来る限りその先端に出て行って竿を出すという行動を享受してきたわけです。

もうそろそろ、私たちの大切な〝ものいわぬ自然〟になりかわって、さまざまな危機の到来を発言し、可能な限り自然に負荷を与えない方法を考える存在へと脱皮してもよいことではないのでしょうか。

釣りの原点に返るとき、見えない水の中で、潮がどのように動き、魚たちが何を考え、どうすれば餌に食いつく気になるかを前もって推理して、釣り方や仕掛けを組みたてるのが基本的な姿です。それならば、こうした工事を実行するとしたら、自然はどうかわるのかくらいは、専門的な研究者でなくとも、ほぼ見当がついていたはずです。

たとえ説得力がなかったとしても意見提示はしておかねばならないし、現在は既に釣り人ごときがと発言することを禁じられる時代ではなくなっていると思います。

釣りインストラクターやその周辺の釣り人の皆さんに、そうした積極的な行動への理解と協力と賛同をお願いします。



松ノ浜　昭和30年

報告1 男里川にて 環境美化活動（ハゼ釣り教室）（H24-9/15）

9 月 15 日土曜日、泉南市男里川河口にて「環境美化活動（ハゼ釣り教室）」を実施しました。

泉南のハゼ釣りは、昔は大変にぎわったものです。しかし浜がなくなり、学校でも川や海へ遊んではいけないという指導が行き届くようになって姿を消してしまいました……今はそんな時代ですが、大阪湾見守りネットの田中正視代表から「学校や地域を巻き込んで、子供たちに遊べる環境を作って釣りの楽しさを伝えたい」と提案があり今回の企画が実現しました。

主催は泉南市 ABC 委員会花と自然事業部で、大阪府海域美化安全協会後援。釣り指導には JOFI 大阪 16 名があたりました。準備した釣具とエサは 100 人分です。

早朝から受付を行ない、7 時に開会式。今回の主旨を説明した後、美化活動と釣り指導を行ないましたが、参加する子供たちは近くに住んでいても釣りの経験のない子どもたちがほとんどで、目をキラキラして喜んでいる姿が印象的でした。

この日は潮が引いている時間帯の釣りでしたから、ちょい投げ仕掛けで狙ってもらいました。釣れた魚種は、ハゼ、コトヒキ、チヌ、ガッチョ、シマイサギ、ヒラアジ、ベラ、オコゼなど。いずれも 15m までの小型でしたが、とりあえず皆に釣れて良かったです。

海辺の美化活動を行なって、12 時 30 分に終了。準備やお世話などたいへんなところもありますが、地域の人たちが近くの自然に親しんでいただけたことを嬉しく思います。

参加者は子ども 75 名、保護者など 33 名、関係者 32 名、JOFI16 名、ライオンズクラブ 20 名、計 176 名でした。（報告：高木）

男里川尻の浜をみんなで清掃しました

報告2 大阪市中学生親善釣り大会（H24-10/6）

10 月 6 日土曜日、第 3 回大阪市青少年指導員釣り教室（中学生親善魚釣り大会）が舞洲シーサイドプロムナードにて開催されました。主催は大阪市青少年指導員連絡協議会、釣り文化協会・JOFI 大阪が協力。

インストラクターは午前 8 時に現地集合、釣りの安全と釣り方の指導を行ないます。二年続けて潮まわりが悪く貧果だったので心配していましたが今回はよく釣れました。釣れなくて飽きる人を見ているよりも釣れすぎて飽きる人が多い方が気分的に楽です。参加者の中には、魚に触ることのできない父兄と子供さんもおられましたが上手く言って何とかハリを外せるようになりました。

釣りが一段落したところで水質調査を実際に見せて大阪湾の環境についての講習を行ないました。

釣果はイワシ、アジ、サヨリ、サッパ、フグ、ソウダガツオ、ボラなどと多彩。表彰式では各魚種毎に 1 匹長寸 1 ～ 3 位に賞品が渡されました。

表彰式後ゴミ拾いを参加者全員で行ない、場所を飯事棟に移し、親善大会のもう一つの楽しみのバーベキューで昼食。参加した皆さんに釣りがよい思い出になってくれればと思います。（報告：中島）

9時過ぎからイワシ・サッパなどが釣れ始めて楽しめました

報告3 第５回大阪湾生き物一斉調査結果発表会 (H24-9/22)

９月 22 日土曜日、大阪市立自然史博物館にて「第５回大阪湾生き物一斉調査結果発表会」が開催。最初に近畿地方整備局神戸港湾空港調査事務所の水谷雅裕所長から一斉調査の主旨と協力者へのお礼と早くも第６回の実施予定日（6/8）の発表がありました。

山西良平氏の基調講演の後、 香櫨園浜、矢倉海岸、十三干潟、樫井川・男里川河口、せんなん里海公園、スナメリ調査などについて各調査を担当したグループの代表から発表を行ないました。

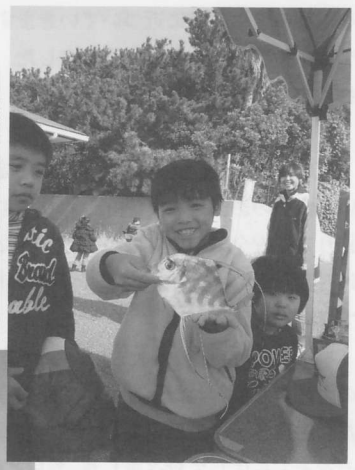
今回調査の出現種は 503 種類。調査地点は 21 カ所、調査への参加者は 20 団体 1328 人。調査結果は国交省ホームページ「大阪湾データバンク」にて公表していますのでごらん下さい。。

報告4 南港魚つり園・姫路遊漁センター 秋の釣り大会 (H24-11/4)

JOFI 大阪・釣り文化協会では公立の釣り施設である大阪市立南港魚つり園と姫路市立遊魚センターの運営協力を行なっています。南港魚つり園では毎週日曜日に「巡回釣り教室」を実施、不定期ですが月 1 回程度「やってみよう魚拓教室」「水質調査の勉強会」を行ない、釣りに入門される方に釣りの良さと自然保護を伝えるように活動をしています。

また春と秋には、特に子供さんを中心に「釣り大会」を開催し、釣り場を共有する仲間作りのための釣り大会を行なっています。11 月 4 日､南港魚つり園にて「秋の釣り大会」、姫路遊漁センターにて「子供釣り大会」を開催しましたので報告します。

南港魚つり園のやってみよう魚拓教室



南港釣り大会でイトヒキアジ（上）とタチウオ（左）

姫路では多彩な魚種が釣れました

【南港魚つり園・秋の釣り大会】

当日は秋晴れのとてもいい天気でした。波はなく、穏やか。釣果のほうは、早朝に良い潮時があってタチウオやイワシが釣れていましたが、その後はアタリが遠のき、ボラ、アジなどがたまに掛かってくる程度でした。そんな中でも珍しい魚が釣れて会場を沸かしました。イトヒキアジです。暖かい海に住む魚ですが、ここ数年大阪湾でも姿を見るようになりました。10 時から「大阪湾の水質調査教室」も行ないました。子供たちは真剣に話を聞いてくれました。来場者全員が気持ちよく釣りを楽しんでいただけてよかったです。（報告：萱間）

【姫路遊漁センター・子供釣り大会】

今回は 40 名の子供の参加がありました。午前７時より大会を開始したのですが最初は潮が動かず子供たちは苦戦の連続。9 時を回った頃に上潮が効き出し、あちこちで「サヨリ釣れた！」の歓声が聞こえるようになりました。12 時に大会検量を終了し、集計の合間にインストラクターから釣りのマナーや毒のもったお魚の話をしました。親子で釣りを楽しみ、自然の大切さを学ぶ機会になったと思います。（報告：吉田）

報告5 柏原市釣り教室 (H24-6/2～9/23)

平成 24 年度柏原市釣り教室は、前期（6/2、6/16、6/30）、後期（8/16、8/25、9/1）に実施。教室のまとめとして 9 月 23 日、千早川ニジマス釣り場にて、14 家族 54 人でニジマス釣り大会を行ないました。雨の日にもかかわらず、皆さん楽しく釣りをすることができ、中には 50 匹も釣る子供もいて大変盛り上がり、事故もなく無事に終えることができました。（報告：森脇）

雨の中でしたが楽しい釣りで締めくくりました

報告6 みらい・のぞみ園 秋の釣り教室 (H24-8/26、10/14)

大阪市立弘済みらい・のぞみ園での秋の釣り教室。今回はハゼを投げで釣る目的で、まず 8 月 26 日に学園にて座学を行ないました。生徒 16 名・先生 1 名・インストラクター 7 名。午前中は、釣り場の安全について話をした後、ワイワイガヤガヤと仕掛けづくりを楽しみ、市販品に負けない仕掛けが出来ました。

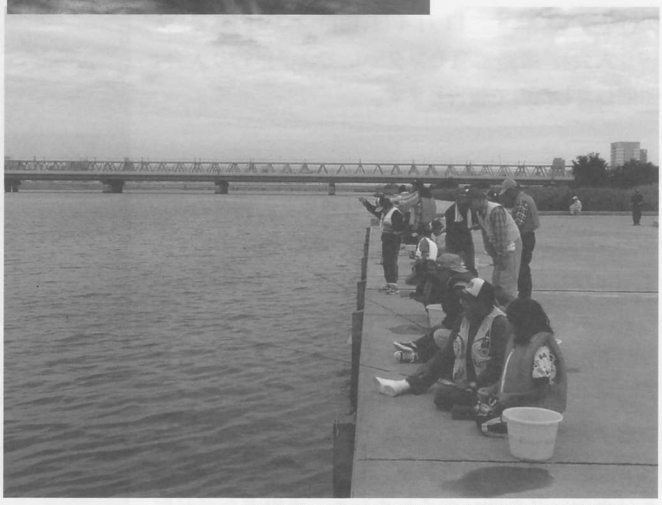
午後からはチョイ投げの練習です。グランドにバケツを準備、バケツをハゼのいるところに見立てての投げ練習。オモリはスーパーボールを用います。なかなか上手く前に飛んでくれませんが、練習を重ねる度に目標に近づいていきます。炎天下、時間いっぱいまでチョイ投げの練習を繰り返しました。実釣の日にハゼがたくさん釣れますように。（報告：岡野）

グランドで投げの練習

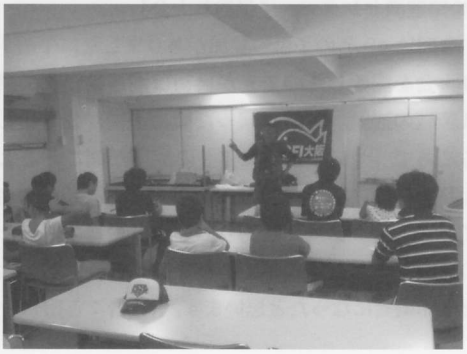
10 月 14 日、実釣は昨年と同じ淀川河川敷公園です。心配していた台風の影響もなく絶好の釣り日和。子供たちもやるきまんまん。釣り方や安全についての説明後、各々好みのライフジャケットを付け、担当のインストラクターと釣りの準備。釣り竿、バケツ、餌を持って岸壁へ大急ぎ。

早速 15cm 前後の大きいハゼがあちこちでヒットし、子供たちの大歓声が。釣れた魚を持って記念写真。カメラマンも大忙しでした。各自 5～6 匹ほど釣り上げ、お昼はテントで釣ったばかりのハゼを天ぷらにして食べました。お昼ご飯を食べ終わった子供たちは、担当のインストラクターに早く釣りに行こうと猛アピールします。早速午後の部開始。釣りおさめの時間まで何匹釣れるか…みんなで楽しみました。

午後 3 時、釣りの時間も終わり恒例のゴミ拾いです。淀川が少しでも綺麗になるよう、みんなで力を合わせたくさんのゴミが集まりました。ゴミを拾ってくれた子供たちご苦労さん！（報告：田隅）



淀川河川敷公園にて実釣　子供たちはやるきまんまん



テントの下で食べるハゼの天ぷらとお弁当は最高です

報告7 寝屋川市スポーツ少年団親子ふれあい釣り教室 (H24-9/22)

9月22日、親と子との親睦を目的に「寝屋川市スポーツ少年団親子ふれあい釣り教室」が行なわれましたので、今年もインストラクター11名で参加しました。スクール生21名、保護者14名、応援の摂南大学生5名で、総勢は51名になりました。

当初予定していた田の浦漁港近くでがけ崩れがあり、通行できなくなっていることを先発隊のインストラクターから連絡があり、急きょ雑賀崎漁港の釣り公園に場所変更をしました。

バスの中では「すきすきフィッシング」の教材により安全についての講習会を開催。バスは11時30分現地に到着、子供たちにライフジャケットを着用させ、仕掛けをセットして釣り場に向かいました。

朝から釣れているのはチヌで、子供たちの対象魚のアジ・イワシは釣れていませんでした。釣り始めるとイトヨリやチャリコなどが時たま釣れる程度でしたが、帰る時間が迫ってきている中、近くの別の釣り場所でアジなどが釣れているとの情報があり、参加者を移動させました。結果、全員が魚を釣ることができ大喜びでした。

その後、竿とリールの片付けを行ない、波止の清掃をして班別に集合して閉会式。谷川スポーツ少年団本部長から挨拶でインストラクターへお礼の言葉をいただき帰途に着きました。(報告：物部)

イトヨリとチャリコが楽しませてくれました。

報告8 ボーイスカウトなにわ地区釣り章講習考査会 (H24-9/23)

9月23日、日本ボーイスカウト大阪連盟・なにわ地区釣り章講習考査会を開催。講義及び実技講習全般をお手伝いしました。

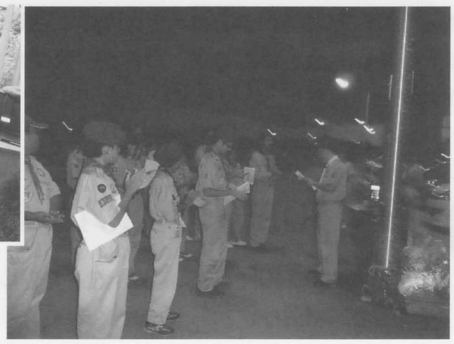
当日は岬町立淡輪公民館に午前8時45分集合し、開会式の後、9時30分から講習会を開始。「船釣り」「波止釣り」「ルアー・フライ」「投げ釣り」「釣り糸の結び方」「渓流・清流釣り」などで午前中の授業が終了。

午後からはボーイスカウト独特の講義がありました。「道具にたよらない魚の獲り方」「魚2種の違いと料理の仕方」を受講生と共に考える講義です。最後は「安全、モラル、法規」で、自然環境を守ることや自分を守ることを学びます。

理解度確認試験で全員が満点をとれた後、午後3時から淡輪漁港で実釣ですがこれこにも試験があり、その説明をボーイスカウト考査員から説明して、ようやく釣り開始です。

最近は生きた魚を触ることのできない子供も増えつつあります。今年も触ることのできないボーイスカウトもいましたが、インストラクターの熱心な指導で、最後はイワシを素手でさばけるようになり本人も大喜びでした。

実釣実技終了後、釣り場清掃を全員で行ない閉会式となりました。閉会式では、JOFI大阪の「釣り検定初級講習修了書」を全員にお渡しすることを伝え終了しました。(報告：物部)



報告9 みらいずバリアーフリー釣り大会 (H24-10/20)

10月20日（土）、第12回バリアーフリー釣り大会が淡輪ヨットハーバーであり、JOFI大阪より9名が応援に行きました。

今年は幸いにも良い天気に恵まれ、良い釣り日和になりました。参加者はみらいず10名、ボランティア10名、障害者の方とヘルパーさん37名、合計66名でした。

前日まで雨のせいかなかなか釣れず最初は悪戦苦闘でした。それでもサビキ仕掛けでアジ、イワシねらいで頑張ってくれました。撒き餌が効いてくるとスズメダイが湧いてきて、彼方此方で歓声が湧いてきて、グレ、ベラ、イワシ、アジ、フグ、カマス等多種の魚が釣れてくれました。

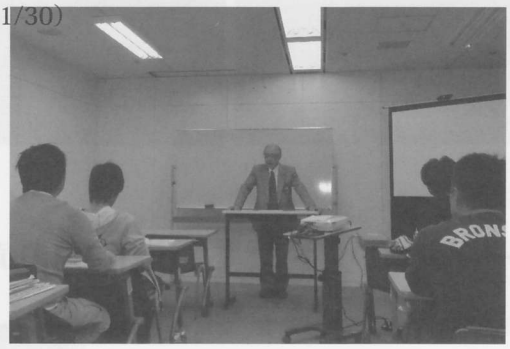
グレが釣れたので記念撮影

近くにいためぐみちゃんという子が突然手を引っ張って「こんな魚が釣れた」と見せてくれました。アジが釣れていてニコニコで喜んでいました。こちらもたいへん嬉しくなりました。また来年も来てみんなの笑顔を見せて貰いたいなと思います。無事怪我もなく一日過ごせ、今日応援に来てもらったインストラクターの皆さんに感謝し、当日のスタッフの皆さんに感謝します。（報告：高渕）

報告10 遊漁船業務主任者講習会 (H24-11/30)

11月29日（木）大阪市内にて「遊漁船業務主任者講習会」を実施しました。主催は全日本釣り団体協議会と大阪府水産課。釣り文化協会・JOFI大阪で運営協力をしています。

講習は元水産庁の後明宏美氏からこの法律の目的と制度のあらまし、船長の行動指針について3時間の講義。次に大阪府水産課の米田佳弘課長補佐から業務規定設定の説明と、各地域で遊漁船業者団体の組織化を推進することが遊適法の目的達成の為に重要であり、その自主的な活動の促進をお願いしたいとの話がありました。



報告11 公認インストラクター講習会 試験 (H25-1/12-13)

1月12～13日、平成24年度西日本地区公認釣りインストラクター講習会・試験を大阪市内会場にて開催しました。主催全日本釣り団体協議会、実施担当JOFI大阪。受講者は内水面10名、海面10名計20名。講義は大阪府の藤林栄蔵氏ほか、来田仁成、綿井良隆、田隅衛、萱間修、東野栄治、辻哲男、物部胤三、窪悟が担当。イ

ンストラクターの心得や基礎知識はもちろんですが、今現在釣りが抱えている問題点についても少しお話ししました。今年度から私たちの仲間になります。釣りに関しては最前線でやられている方ばかりでしたのでこれからの活躍が楽しみです。

報告12 JOFI大阪 2012年度事業報告 (H24-1/1～12/31)

平成24年度のJOFI大阪の活動実績を発表します。

本部事業：開催日数21、参加数128

本部南港つり園事業：開催日55（内15日中止）、参加数377

支部事業：開催日数15、参加数111

大阪湾水質調査：開催日55、参加数70

役員会：開催日8、参加数150

合計では延べ150日、延べ人数800名を越える会員の参加がありました。主催したイベントではそれぞれ参加者がおられますので、活動の対象となった人数は相当の数に上ります。活動内容についてはこの広報紙で報告している通りです。（報告：高木）

報告13 「釣り文化ラジオ」をスマートフォンでお楽しみ下さい！

昨年５月６日に第１回放送を開始したインターネットラジオ「釣り文化ラジオ」は、今年１月８日の放送で第 14 回目となりました。当初はパソコンのみでしたが、現在はスマートフォンで、専用ソフトのダウンロードなしで聴いていただけるようになっています。釣りの問題や楽しみ方などいろんな話題があります。釣りの現状をお話しできるメディアは他にはありませんので、皆さんからの質問やお便りなどお寄せいただければ嬉しいです。録音は不定期ですが月 1～2 回、JOFI 大阪の本拠地、南港魚つり園にて行なっています。

◀ラジオのメニューはこちらから▶

http://jofi-osaka.com JOFI 大阪 ホームページ

http://turibunka.or.jp 釣り文化協会 ホームページ

釣りのご相談受け付けています！

【お知らせ】

2/2-3 フィッシングショー OSAKA に「大阪湾の再生」のコーナーができました！

２月 2～3 日インテックス大阪で開催される「フィッシングショー OSAKA2013」に、近畿地方整備局、大阪湾環境保全協議会、大阪府海域美化安全協会がまとまって「大阪湾の再生」というコーナーを出展します。JOFI 大阪では、生き物一斉調査や水質調査など、大阪湾環境再生連絡会の方々とともに取り組んでまいりましたので、今までの活動のパネルを展示して協力致します。より多くの釣り人の方に環境美化、環境保全への取り組みを知っていただけるように、当日は私たちが解説員として立つ予定です。ぜひお立ち寄り下さい。

【お知らせ】

3/10 海遊館【第９回ほっといたらあかんやん！大阪湾フォーラム】にて「大阪港の釣り今昔」発表致します ＜3/1 よりマーケットプレースにて展示＞

３月 10 日、天保山の海遊館ホールにて「第９回ほっといたらアカンやん！大阪湾フォーラム』を開催します。主催は大阪湾見守りネット他。今回は大阪湾再生に向けて活動する大阪湾見守りネットのすべての団体がそれぞれに「大阪湾見守りトーク」として発表を行ないます。

釣り文化協会では「大阪港の釣り今昔」と題して大阪の釣り文化を來田仁成がお話しする予定です。なお 3/1 よりプレ展示として、マーケートプレース 3F・ロタンダステージにて大阪港のボラ掛けやチヌこすり釣りなどの昔の釣具やパネルの展示、浅場再生の取り組みの展示等を行いますのでお時間があれば見に来て下さい。

大阪湾見守りトークは 14 時～17 時の開催ですが、当日は午前 11 時から様々なイベントが組まれていて、海洋環境船「Dr. 海洋」の見学会、環境保全に取り組む高校生の交流会、マーケットプレースでの各団体の展示等も行ないます。参加費は全て無料です（海遊館へは別途入場料が必要）。

＜参加団体＞　大阪南港野鳥園、大阪自然環境保全協会、大阪湾見守りネット、大阪湾環境保全協議会、大阪府海域美化安全協会、和泉鳥取高校フィールドワーク同好会、釣り文化協会、貝塚市立自然遊学館、堺２区鳥類調査会、アマモ種子バンク、大阪コミュニケーションアート専門学校、海遊館、きしわだ自然資料館、近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所、大阪湾広域臨海環境整備センター、JF 兵庫県漁連、大阪湾環境再生研究会国際人材育成部、近木川流域自然研究会、沖洲海浜楽しむ会、浜寺公園自然の会、西淀自然文化協会

【お知らせ】

第7回 大阪湾53ピックアップ環境学習会

おおさかわんごみぴっくあっぷ＋かんきょうがくしゅうかい

3/24 泉佐野港

大阪湾 53 ピックアップ清掃活動は 2006 年にスタート、一昨年は東日本大震災へのチャリティー活動などがあり延期しましたが、今年で 8 年目を迎えるイベントです。釣り人が釣り場に対して最低限の礼儀として 53（ごみ）を pickup（つまみあげて）、そしてキレイにしようという全国的な活動ですが、大阪湾では「清掃＝環境を守る活動」であることから、2012 より「環境学習会」を同時開催し、魚と環境を守る意識の向上に努めています。今年度は水辺の初心者でも楽しめるように、大阪湾の環境についてのやさしい教室と参加型の学習会を行ないます。さらに！さらに !!!　楽しいお食事会やチャリティー釣具バザーも開催します。ご家族連れ添ってご参加下さい！

日時：2013 年 3 月 24 日
場所：泉佐野港（旧フェリー乗り場）
主催：NPO 法人釣り文化協会　NPO 法人水辺基盤協会
　　大阪府釣りインストラクター連絡機構
後援：大阪湾環境保全協議会
　　NPO 法人 大阪府海域美化安全協会
協力：大阪府港湾局　泉佐野市　釣具メーカー各社
参加費：無料
予定人数：60 名
申込先：釣り文化協会事務局
　FAX06-6358-4445 または Email：jimukyoku@turibunka.or.jp
（会場へは一般車両入場不可の為事前申込が必要）
問合せ及び当日の連絡先：090-1902-2833 実行委員長

＜予定＞
8 時　　集合・受付
8 時 15 分〜　水辺清掃活動
9 時〜11 時　環境学習会 「大阪湾の魚と環境」 大阪府環境保全課 亀井誠氏
　ワークショップ① 港の生き物＆水質調査（鍋島靖信先生を囲んで）
　募集 30 名程度…定員になり次第締切
　ワークショップ② 青空市場買い出し魚料理（釣人料理）
　募集 15 名程度…定員になり次第締切
11 時〜　魚庭の魚の食事会（魚汁、魚飯など）
　チャリティー釣具バザー（JF 東日本大震災がんばれ漁業募金に寄付）
12 時　　終了予定
（※雨天の場合は中止）

大阪湾 53 Pick Up! 環境学習会

2003 大阪湾 53PickUp! 環境学習会

参加申込

氏名　①代表者　　④

②　　⑤

③　　⑥

代表のご連絡先　住所

電話番号

参加希望のワークショップ　①港の生き物調査　②釣人料理

乗って来られるお車は？

申込先 FAX＝06-6358-4445
またはメールにて（jimukyoku@turibunka.or.jp）参加申込下さい。
チャリティー釣具バザーへの参加（中古釣具等のご寄付）も募集中です！

3/16 までにお申し込み下さい。